

公益社団法人 和歌山県理学療法士協会 ニュース

THE WAKAYAMA PHYSICAL THERAPY ASSOCIATION NEWS

2013 December No.70

発行
公益社団法人
和歌山県理学療法士協会

発行責任者：中前 和則
編集者：上野山 佳男
ホームページ：<http://pt-wakayama.or.jp>
メールアドレス：w-pta@ptwakayama.or.jp

巻頭言

地域包括ケアシステムへの参画を目指して



会長 中前 和則

師走の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のことと存じます。

さて、私たち理学療法士の団体が、学術団体から発展し、公益活動、職能団体として成熟し真価を問われる時が来ました。

国が、2025年までの完成を目指し取り組んでいる地域包括ケアシステムの構築にむけ、如何に理学療法士が参画できるかに私たちの将来がかかっています。

県も公益社団法人化や、これまでの活動を評価して頂き、長寿社会課が窓口となり、リハ専門職（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）の人材育成補助金として、本年度より3年間で800万円の補助金を付けて頂くことになりました。経費削減のこの時代にかつてない補助金の額であり、高齢者施策や地域リハビリテーションに対する私たちへの期待がいかに大きいか、私たちはそれに応えて行かなくてはなりません（これにつきましては、3団体で協議し有効に活用したいと考えています）。

今後は、事業の実施主体が市町村になりますので、市町村への働きかけが重要となってきます。地域ケア会議等に、理学療法士を呼んで頂けるようアピールして行かなくてはなりません。

そこで、当会では、公益法人取得を機に、平成26年2月15日（土）に公益法人取得記念事業とし公開講座と記念祝賀会を開催します。

記念講演は一般公開講座とし、広く県民の方々に当協会が公益法人を取得したことをアピールすると共に、リハビリテーションの必要性を訴えたいと考えています。

記念祝賀会では、国会議員、県議員、県知事、県関係者、市町村首長、市町村担当者の方や、私たち理学療法士の勤務施設長の方々をお招きし、当協会活動をアピールすると共に、地域包括ケアシステムへの参画を訴えたいと考えています。

市町村とは、これまでも地域リハビリテーション講座の開催（県内全市町村で実施）やバリアフリー体験学習会の開催に際し保健、福祉担当者と連携して参りました。また、2015年に開催されます紀の国わかやま国体、紀の国わかやま大会（障害者スポーツ大会）の支援で計画している100人のアスレチックトレーナーの養成や、市町村会場でのコンディショニングブースの設置等を通じ、県及び市町村との連携強化に努めて参ります。

今後は、各会員施設の理学療法士の方々が、市町村と連携を深めていくことが必要です。

各施設の理学療法士が直接市町村に出向き、地域ケア会議への参加を申し出たり、市町村からの講演や会議参加依頼等に積極的に協力して行く必要があります（依頼があった場合には、県協会事務局にご連絡下さい）。

当協会は、会員の方々の地域活動を支援致しますので、会員の方々も積極的に市町村に働きかけて頂くことが大事です。

地域包括ケアシステムへの参画を積極的に推進しましょう。

共に、頑張りましょう。

理事会 報告

■平成 25 年度第 4 回理事会 報告■

日 時：平成 25 年 9 月 28 日（土） 15:00～18:50

場 所：和歌山ビッグ愛 12 階 協会事務所

参加者：14 名

（理事）中前、林、上西、森本、前、岩崎、松井、須賀、池田、南、吉富、西川、安井

（監事）川村

委任状：（理事）有馬、（監事）浦

（書記）前

議 案：

1. 各局からの報告・検討事項

1) 事務局：

①全国事務局長会議報告

平成 26 年度重点課題について（資料にそって説明）

政策企画業務執行委員会、職能関連業務執行委員会、広報啓発業務執行委員会

総務関連業務執行委員会、学会運営審議会、生涯学習業務執行委員会

各委員会からの重点事業について説明

平成 25 年 26 年度の執行役員、委員会・特別委員会について資料にそって説明

②日理協からの連絡等（弔事対応について、不審電話について）

不審電話については HP 掲載済み、次回のニュースに掲載予定。

③弔事について

物故会員に対して、学術集会時等に黙祷を捧げる案について → 本年度より実施で承認

（田中智英氏、下芝正元氏）

弔事や見舞金支給に対する規程案を作成する。 → 次回理事会に提出

④新入会員：三木町寺下整形外科 寺下浩和 氏 → 承認

2) 学術局：

①近畿ブロック 2 府 4 県士会における年会費および研修会参加費等徴収状況について

学術局受益者負担資料にて報告

② 新プロ履修状況について（平成 25 年 8 月末現在） 管理運用部 部長 三嶋美一

8 月に糖尿病関係研修 森本信三（白浜はまゆう）実施

1 月に実施予定 PNF 関連

履修要件について説明

新人教育プログラムテーマ一覧資料提示

③ 平成25年度学術事業推進特別委員会検討事項報告 → 承認

・1 月 25 日研修会・新年会予定

・3 月の学術集会開催予定（3 月 8・9 日、15・16 日 県立医科大学講堂を予定）

・必須の初期研修（A）は 2 回行うこととするが、他の研修は 1 回で計画。

・マイページを開いていない会員が多く、履修できていても終了申請を行っていない会員もいるため、
会員に新人教育プログラム履修状況の確認を、施設の PT 長と地域局で連携し本年度より実施する。

3) 福祉・保健局：

①第 4 回訪問リハビリテーション研修会について

2 月 1 日（土）・2 日（日）を予定。

②災害リハビリテーション研修会について

2 月に全国 10 団体の会議に出席し、災害に対しての組織を作ることや連携について検討を要請された。

（1. 2. は和歌山県地域リハビリテーション研修会の中に入れられないか検討する）

4) 社会局：

「多職種協働による在宅医療研修会」（和歌山県病院協会・コメディカル担当部）

日程：平成 25 年 12 月 5 日（木） 14：00～17：10

場所：和歌山県勤労者福祉会館「プラザホープ」

シンポジスト：林元 光広氏（訪問看護ステーションはやしもと）、会議にも出席

5) 厚生局：

障害者野球部「ヤマト和歌山」後援依頼（後援名義）について
「ヤマト和歌山」より年間の後援依頼あり → 承認

6) 広報局：

① ホームページについて

現在、業者に作成依頼中で準備をすすめている。

② 協会ロゴマーク、シンボルマークについて

ロゴとシンボルマークとは使い分ける事が出来るため、現在のマークはシンボルマークとして残し、新たにロゴマークを作成する。 → 承認

③ 次回ニュース原稿締め切り 11月11日

7) 紀北地域局：

- ・第95回全国高等学校野球選手権和歌山大会ディカルサポートについて報告。
- ・第1回紀北地区新人教育プログラム対象者による学術発表会について報告。
- ・第2回紀北地区新人教育プログラム対象者による学術発表会予定を報告。

8) 中紀地域局：

- ・第4ブロック主催中紀局合同研修会について報告。
- ・新人教育プログラム研修、中紀局研修予定について報告。

9) 紀南地域局：

- ・第6ブロック勉強会報告。
- ・第2回紀南地域局研修会および紀南地区新人発表会予定について報告。

10) 財務局

- ・会費未納者の協会事業参加の制限について
今年度は会員に会費納入を促す程度にとどめる。

2. その他

1) 紀の国わかやま国体支援特別委員会

第1回研修会を紀北地区にて開催

第2回研修会 11月9日（土）開催予定 会場：成華苑

紀南でのブースについて依頼あり（資料）

派遣人数が把握できないが、もう少し参加可能者を募集する。

2) 公益社団法人取得記念事業

開催日時：平成26年2月15日（土） 会場：アバローム紀の国

公開講座、記念祝賀会を開催

公開講座は、東海林のり子氏（キャスター・リポーター）

公益法人取得のお披露目を目的として広報に力を入れたい。 参加人数300～400名程度を予定。

記念祝賀会は、120名程度の規模にて開催予定。

3) 県委託事業（県長寿社会課）の研修会について

地域リハビリテーションを推進するための人材育成としての研修会の依頼あり。

県理学療法士協会、県作業療法士会、県言語聴覚士会の3者で協議して進めたいとの意向。

県下8カ所の保健所圏域に関連機関の連携とリハ従事者の技術研修会を実施。併せて、在宅での利用促進及び他職種連携のための普及啓発も実施し地域への普及を図る。 → 承認

4) 表彰審査委員会

医療従事功労者賞として、杉本勲業氏、中西靖治氏を推薦 → 承認

■平成25年度第5回理事会 報告■

日 時：平成25年11月9日（土） 15:30～18:10

場 所：和歌山ビッグ愛 12階 協会事務所

参加者：11名

（理事）中前、林、上西、森本、前、岩崎、池田、有馬、吉富、

（監事）浦、川村

委任状：（理事）南、須賀、西川、安井、松井

（書記）前

- ・会長挨拶：日本理学療法士協会から、地域包括ケアシステムの取り組みについて積極的に協力頂きたいとの意向。
当協会としても協力をしていきたい。

議 案：

1. 各局からの報告・検討事項

1) 事務局

- ① 新入会員：中本光美氏（自宅会員） → 承認
- ② 弔事への対応および見舞金支給に関する規程案について、事務局より説明。
会員の一親等に関する弔電について、以前からの規程にあったものを追加する。
慶事規程含めて再検討する。
- ③ 日理協主催の選挙管理運営委員会報告を事務局より代理で報告（別紙資料）
代議員選挙について 平成 26 年 1 月中旬に選挙告示予定

2) 学術局

- ① 近畿学会の報告、生涯学習担当学会について報告
 - ・理学療法士講習会申請・開催の流れが変更された。
受付・会計等は日本理学療法士協会から外部の業務委託するようになった。
 - ・生涯学習担当学会（平成25年11月3日）
生涯学習業務執行委員会の位置づけと役割
具体的活動内容
田町CRを研修会場として平日活用を検討
平成26年度の重点課題として
OJT研修システムの構築（業務の一環として研修システムを構築していく）
- ② 1月25日研修会（講師：内山先生）決定、研修会後に新年会
県学会日程決定→3月16日
山口和之先生来和しシンポジウムを予定
- ③ 今後の新プロ研修会で日程の決まっている研修会は、早めに広報を行っていく。

3) 福祉・保健局

研修会、健康祭り等への参加報告

地域リハ講座

11 月 30 日にみなべ町にて開催予定

12 月 7 日に九度山町開催予定 全市町村で開催となる。

訪問リハ研修会は平成 26 年 2 月 1・2 日にて開催予定（会場は、あいあいセンター）

※地域医療再生事業補助金について（中前会長より）

① 作業療法士の事業

② 12 月 22 日開催の人材育成研修

③ 訪問リハ研修 の 3 事業を補助金申請する予定。

今年度予算は 160 万円、平成 26・27 年度は各 320 万円で検討中である。

4) 社会局

会議の報告について

和歌山県病院協会学術大会について 進行状況説明

近畿公衆衛生学会について平成 26 年 5 月 22 日（木）開催、参加募集と演題募集は追って案内

① 福祉・保健局との合同研修会について

平成 26 年度が診療報酬・介護保険が同時改訂年であり福祉局との合同開催を計画。

地域包括ケアシステム関連の研修会も検討。

川越雅弘氏を計画。

② 理学療法士長の研修会について

身分対策検討特別委員会より提案

日理協理事 山根 一人 氏を計画。

地域医療再生事業の補助金での事業を計画していく。

1) 厚生局

資料にて報告

2) 広報局

バリアフリー体験学習会

和理協独自のものは毎年のように「南広小学校」で開催 10月12日（土）
県（振興局）主催のものは1月末、2月初旬を那賀振興局内でのイベント時に計画中。
ロゴマークについては検討中。

3) 紀北地域局

11月10日に第2回紀北地区学術発表会の予定。

4) 中紀地域局

資料にて報告

5) 紀南地域局

資料にて報告

6) 財務局

① 補正予算案について

地域医療再生事業にかかる補助金を補正予算案（160万円）として計上 → 承認

② 各局の役員行動費について

現在、各局で予算化して実施してもらっている局とそうでない局があるので、統一して各局で予算化して対応して頂きたい

③ 各局の出納帳について

12月末締めにて、財務局へ1月15日までに送付のこと

2. その他

1) 紀の国わかやま国体支援特別委員会

競技会場におけるコンディショニング活動依頼について

コンディショニング依頼の競技、日程、人数について

紀北・紀南に分けているが、特に9月22日～9月30日までが多く の 応援が必要である

→ 依頼側と調整済み（林）

障害者スポーツに関しても応援可能の予定である

2) 公益社団法人取得記念事業

公開講座のチラシの最終校正中

多くの方にお越し頂くために、新聞広告、回覧板、チラシ、ポスター等で広報していく。

記念祝賀会の案内も12月上旬までには発送予定

会員への運営協力依頼を予定

3) 地域医療再生事業補助金（県委託事業）について

補助対象事業として

① 地域リハビリテーションに関わる人材育成

② 普及啓発

③ 連携体制づくりがある。

各局で当てはまる事業があれば補助金事業として検討する。

4) 那賀圏域医療と介護の連携推進協議会事業について

振興局より協会員に講師の打診あり。

当協会として協力していく方向ですめる。

地域包括システムにかかる地域ケア会議等について会員宛にアンケートを実施する。

5) 倫理担当者会議報告（川村監事より）

日理協倫理担当者会議で事例の報告あり。

福祉・保健局より

福祉・保健局担当理事 須賀 和明

福祉保健局では、夏から秋にかけて事業がたくさんあります。部の全体を通して和歌山市において市民向けの「家庭家族介護教室」を2回開催、県内介護職指導者向けに「腰痛予防の為の介護技術講習会」、「輝け・病気の子供たち！リゾートキャンプ」ボランティア参加、各地域事業（健康まつり等）参加を行いました。
今後の予定としては、訪問リハビリテーション研修会、第81・82回地域リハビリテーション講座などがありますので、引き続き御協力宜しくお願いします。部長部員はじめ運営にご協力いただいた会員の皆さんに感謝いたします。

◇「第11回輝け・病気の子どもたち！リゾートキャンプ」

障害者福祉部長 青石 博文

平成25年10月12日（土）～13日（日）和歌山マリーナシティに於いて和歌山県難病の子ども家族会主催「輝け・病気の子どもたち！リゾートキャンプ」に運営協力致しました。子どもさんの入浴介助や身の回りのお世話、遊び、また、同日（13日）に障害児者保護者への教育事業として「ストレッチ教室」を開催しました。今回も子ども達のパワーに圧倒されたとともに熱く、そして有意義な2日間でした。当日ご参加ならびにご協力頂きました先生方におかれましては、入浴介助など様々な予定変更にも快く対応していただきこの場をお借りし御礼申し上げます。

第11回輝け・病気の子どもたち！リゾートキャンプ

主催：和歌山県難病の子ども家族会

後援：和歌山県（難病・子ども保健相談支援センター）

日時：平成25年10月12日（土）～13日（日）

場所：和歌山マリーナシティ

参加者：参加者25名、（15施設25名）（両日19名・1日6名）

岩崎（栗原）、岩崎・岡本（さくらクリニック）、稲垣（愛徳）、松井（厚生学院）、増田（琴の浦）、

濱口（今村病院）、青石・高野・山口・伊豆・片山（済生会有田）、須賀・平（白浜はまゆう）、

中口・奈良岡（有田市立）、長・畑中（瀬藤病院）、土屋・芝（リバティー博愛）、

佐野（辻整形）、木戸（北出病院）、辻（嶋本脳神経外科内科）、河口・中山（寺下病院）

「輝け・病気の子どもたち！リゾートキャンプを経験して」

白浜はまゆう病院 平 和晃

平成25年10月12日・13日にリゾートキャンプに参加させていただきました。普段の職場ではなかなか経験できない子どもを含めた患者様およびご家族の方との接し方、他職種とのボランティア間でのコミュニケーションの大切さを学びました。また、子どもにとって遊ぶことがいかに重要なのか、生活を豊かにするものなのかを改めて実感することが出来ました。それは病気や障害の程度ではなく、子どもが目一杯に楽しんで遊べるように、理学療法士として何が出来るのかを考える機会になりました。今後の機会の為に、理学療法士として、様々な知識・技術を習得し、今回以上に貢献していきたいと思います。



「第11回輝け・病気の子どもたち！リゾートキャンプ参加して」

瀬藤病院 長 真菜美

私は今回、輝け・病気の子供たち！リゾートキャンプの「ビューティストレッチ」にスタッフの一員として参加させていただきました。有田市立病院の奈良岡先生による講義にそって、日常生活や介護による凝りや痛みの改善、健康で美しいカラダを保つことを目的にストレッチを行ってもらった形でした。キャンプ参加の子供さんや、保護者の方、ボランティアの方など計25名の参加があり、マット上で和気藹々とした雰囲気の中で実施することができていました。身体の歪みや、生活上の不良姿勢の説明の際には、会場内からも関心の声があがっており、講義後には、「リフレッシュできました。明日から実際にやってみます」といった意見も聞く事ができました。実際介助者で腰痛をお持ちの方もおられ、普段から良い姿勢を心がけることなど健康への意識が少しでも高まったのではないかと感じました。

私は、今回のボランティアに参加するのは2回目ではありますが、ボランティアの方々と一緒に笑顔で楽しんでいる子供さんの姿がたくさんあり、私自身も癒され、とても楽しく過ごすことができました。また、1日目には、入浴介助をさせてもらう機会があり、普段の業務の中で経験できない介助の仕方も学ぶ事ができました。今後も、このようなボランティア活動に積極的に参加していきたいと思っています。今回、御一緒させていただいた諸先生方には貴重な経験をさせていただいたことを深く感謝しております。ありがとうございました。



◇障害児者保護者への教育事業「ビューティーストレッチ」

日 時：平成 25 年 10 月 13 日（日）

場 所：和歌山マリーナシティ わかやま館 2F 202 号

内 容：障害児者保護者への腰痛予防等介助・運動指導等

対 象：障害児保護者、指導者、難病ボランティア等

参加者：奈良岡（有田市立）、長（瀬藤病院）、土屋（リバティー博愛）、岩崎（栗原）

「障害児者保護者への教育事業参加」

有田市立病院 奈良岡 隆也

平成 25 年 10 月 13 日（日）に障害児者保護者への教育事業として「ビューティーストレッチ」と題し、身体のケアを中心に約 40 分間、講義・実技を行いました。参加者は 20 名ほど来ていただき、腰痛や肩こりなど、困っている方が多く、解剖学や運動学を中心に原因の理解を深め、それに対する予防方法（ストレッチを通して）をご理解していただきました。

参加されたお母さん方から「肩が楽になった。」「腰がよく伸びた」と言っていただき、満足している様子でした。今回初めての障害児者保護者への教育事業でしたが、とてもよい経験となりました。今後も理学療法士が一般の方に何が出来るのか、何を寄与するのかを考えて行動していければと思います。最後になりましたが、運営協力いただきました先生方に感謝いたします。



■「健康福祉イベント」参加

地域リハ事業推進部長 中口 孝昭

海南市、有田川町、上富田町の健康福祉イベントに和歌山県理学療法士協会のブースを出展し、大勢の方にご利用いただきました。

この事業を他の市町村でも展開したいと考えています。我々が地元の方々に専門職として理学療法士を広報できる一番の機会だからです。マニュアル・展示パネル・そして配布グッズ準備しております。

「ウチの町でもやってみたい・・・」とお思いの先生！！一報をお待ちしています(^.^)

◇「第 16 回有田川町どんどんまつり」参加

事業名：第 16 回有田川町どんどんまつり

日 時：平成 25 年 10 月 20 日（日）

場 所：きび会館

内 容：リハビリ相談（関節の痛み・セルフトレーニング・杖の相談など）

参加者：戸田（西岡）、水主（済生会有田）、小畑（小畑訪看）、中口（有田市立）

平成25年10月20日にきび会館において、「第16回有田川町どんどんまつり健康フェア」が開催されました。当日は、前日からの雨にも関わらず、子供連れの夫婦、高齢者、学生等、老若男女を問わず多くの方々が会場に訪れてくださいました。また理学療法のブースでは、会場に訪れた方の身体の症状や疾患等の相談に乗ることや、握力測定、杖のゴム交換等、様々な事を行わせていただきました。症状や疾患の話をするのは病院等でもありますが、今回の相談に来られた方々は、症状としてはまだ現れていない、予防することにより寛解する方もおられたと思います。こういった方達を、運動指導等を行うことで予防し、減らしていくことも私たちの仕事のひとつだと感じました。今回参加させていただいたことで、リハビリに通院されていない方の生の声を聞くことができ、大変良い経験ができ、勉強になりました。最後になりましたが、一緒に御参加頂きました先生方、御参加頂きました方々に感謝いたします。本当にありがとうございました。



◇「第9回海南市健康まつり」参加

事業名：第9回海南市民健康祭り

主催：海南市

日時：平成25年10月20日（日）

場所：海南市保健福祉センター

内容：リハビリ相談（関節の痛み・セルフトレーニング・杖の相談など）

参加者：田伏（辻秀輝）、阪口（海南市民）、さこ畑（恵友）、谷田（辻整形）

「第9回海南市民健康まつりに参加をして」

辻秀輝整形外科

田伏 健久

10月20日（日）海南市保健福祉センターにて第9回健康まつりが開催されました。

みんなで健康づくりというテーマで各団体のブースイベントやお楽しみコーナー、バザーなどが催され、開会式では石田、阪口国會議員が駆けつけ、きーちゃんも祭りの盛り上げに協力してくれていました。

和歌山県理学療法士協会からもブース参加で会員4名が参加、在宅でのリハビリや健康相談、杖の点検及び協会活動のパネル展示などで協力させて頂きました。

朝から雨天のため、参加者がいつもよりも少なかったことが残念です。



◇「平成 24 年度口熊野かみとんだ健康福祉と文化のまつり」参加

事業名：「平成 25 年度口熊野かみとんだ健康福祉と文化のまつり」

日 時：平成 25 年 11 月 3 日（日）

場 所：上富田福祉センター

内 容：リハビリ相談（関節の痛み・セルフトレーニング・杖の相談など）

参加者：木下（自宅）、栗山（南紀支援学校）、椎橋（アンソレイユ）、橋本（成華苑）

鳥淵（訪問看護ふるさと）、須賀（白浜はまゆう）

「上富田健康・福祉と文化の祭りに参加して」

南紀支援学校 自立活動部 栗山 光英

和歌山県理学療法士協会の地域事業活動として 11 月 3 日（日）西牟婁郡上富田町で行われた『健康・福祉と文化の祭り』に参加しました。小雨の降る中での開催となりましたが、親子連れや学生さん、ご夫婦、働き盛りの方、ご年配の方など幅広い世代のたくさんの方々が、それぞれの興味・関心を持って私たちのブースを訪れてくれました。

特に展示していた等身大の骨格標本に興味・関心を示す子どもたちが多く、最初は恐る恐る近づいて触れるまでに時間を要すこともありましたが、一度触れることができると標本の関節を動かして自身の動きと比較してみたり、スタッフが説明する人体の構造に真剣に耳を傾ける姿が見られるなど、将来の理学療法士を目指して頑張っている心の中でエールを送らずにはいられませんでした。

最後に今回参加した 6 名（初参加 2 名）で、終了後に今日の自分たちの活動内容について振り返り、今後の課題について話し合う機会を持つことができたことは、個人や地域社会などに「理学療法」について理解を深めて頂くためにはこういった視点が重要なのかを考える貴重な体験となりました。来年同じ場でより一層工夫された興味深い活動内容を提供できればと思います。



◇ 和歌山市家庭家族介護教室運営協力

介護保険対策部長 赤澤 直紀

平成 25 年 9 月 7 日（土）、10 月 5 日（土）に、和歌山市からの委託事業「和歌山市家庭家族介護教室」を中谷病院にて開催致しました。今回の内容は「介護者の腰痛予防と予防体操」をテーマに行いました。本事業内容が少しでも家族介護に携わる方のためになれば幸いです。また運営に御協力頂きました先生方に感謝致します。

事業名：「和歌山市家庭家族介護教室」（第 1 回）

主 催：和歌山市

日 時：平成 25 年 9 月 7 日（土）13 時～15 時 30 分

場 所：中谷病院会議室

内 容：①「介護者の肩・膝痛予防」

②「肩・膝痛予防する体操と日常生活の指導」

③「気軽にお話しましょう」

担 当：松井（国際厚生）、岩崎（栗原整形）、佐野（済生会有田）、小橋（恵友） 川口（中谷）

平成25年9月7日（土）に中谷病院において開催された「介護予防につながる肩こり・膝痛予防と予防体操」についての講座にスタッフとして参加しました。参加者は肩こり・膝痛をお持ちの方、そして実際に家族を介護されている方でした。講師は和歌山国際厚生学院の松井有史先生でした。豊富な知識を基に専門職としての技術を生かした内容は流石でした。最後に皆でテーブルを囲んだ意見交換会では、参加者の声を直に聴くことができました。今回参加したことで、専門家として指導するにはもっと知識を深めなければならないことを再確認しました。有難うございました。



事業名：「和歌山市家庭家族介護教室」（第2回）

日 時：平成25年10月5日（土）

場 所：中谷病院

内 容：「介護者の腰痛予防と予防体操」

講 師：赤澤直紀（河西田村）

対 象：和歌山市在住で家族介護に携わる者（5名）

参加者：赤澤（河西田村）、阿川（辻秀輝整形外科）、井村（済生会和歌山）、川口（中谷）

対象者：和歌山市在住在宅介護者等

「和歌山市家庭家族介護教室に参加」

辻秀輝整形外科 阿川 省吾

平成25年10月5日（土）に中谷病院会議室で行われた、和歌山市主催「和歌山市家庭家族介護教室」に参加させていただきました。腰痛について講義及び体操を行いました。解剖学を中心に立位および座位姿勢などの講義から始まり、腰痛の予防体操を実際に体験してもらいました。普段から家族さんの介護に関わっているひとが対象ということもあり、介護する側の負担を軽減する介助法や身体の使い方、筋力トレーニングなど、真剣に取り組む方も多かったです。また、介護で困っている事や悩みを相談しアドバイスを出し合うなど、和気あいあいと進みました。今後も市民の皆さまのために頑張っていきたいと考えてます。



厚生局より

◇「高校野球メディカルサポートの後は、身体障がい者野球のサポートをしませんか？」

対外交流部長 石橋 昭人

8月25日(日)和歌山市民球場で実施された、第11回和歌山市長杯争奪身体障害者野球大会に帯同して来ました。和歌山県身体障害者連盟の代表の方と事前打ち合わせ等を行い当日を迎えました。がしかし当日はあいにくの雨の為、体育館でレクリエーションしてお弁当を食べて終了になってしまいました。

和歌山市内での身体障害者野球大会は隔年に実施されています。今回は和歌山厚生学院の学生さんとコラボレーション出来ればと考えています。

また県内唯一の身体障がい者野球チームの「ヤマト和歌山」では、随時部員の募集を行っています。

障がいの有無に関わらず、白球を追いかける“アツイキモチ”に変わりはありません！！

協会の先生方も、ぜひ野球部員の紹介及びご協力よろしくお願い致します。

◇第17回WPTA杯ゴルフコンペ開催

幹事 日根 孝方

秋も深まり、寒い日が多くなってきた中、11月17日、白浜ビーチゴルフクラブにて、3組と例年より少ない参加者でしたが、ポカポカ陽気の中、第17回WPTA杯ゴルフコンペを開催できました。

優勝は、3年ぶり参加の辻中先生(労災)で、ドラコン、ニアピンを獲得し、久々を感じさせない実力を発揮され、辻中Dayとなりました。準優勝は、前回優勝のわたくし、ベスグロは、PT会実力トップの竹中先生(紀南)でした。初参加の樫尾先生(古梅)、松本先生(紀南)お疲れ様でした。

今回は、平成26年2月23日です。奮って参加して下さい

広報局より

広報局担当理事 吉富 俊行

バリアフリー体験学習会(協会独自事業) 報告

日時：平成25年10月12日(土) 8:00～11:30

場所：広川町立南広小学校

対象：6年生39名 保護者39名 教職員2名 計80名

参加会員：中口(有田市立病院)、宮原・阪中(済生会有田病院)、津村(西岡病院)、松浦(和佐の里)

大西(真寿苑)、阪口・永春(海南医療センター)、吉富(日赤) 以上9名

参加学生：朝倉(森ノ宮医療大学)、五木田(植草学園大学)、中西(和歌山国際厚生学院)



「バリアフリー体験学習会に参加して」

介護老人保健施設 和佐の里 松浦 誠憲

この会にはスタッフ12名を含めた約90名が参加し、多くの方々に集まって頂きました。福祉用具に関してほとんど知識がないであろう小学生やその親御さんたちが、車椅子や松葉杖などの福祉用具と触れ合う様子を見て感心させられ、またその参加者に対して福祉用具やリハビリの説明をするスタッフを見て、まさに「プロとはこういうことだ」という風景を目の当たりにし、自然と笑みがこぼれていました。

小学生が杖や車椅子を遊び道具のようにして使っているのを見て、「コラっ」と内心感じていましたが、その感情を親御さんが代わりに感じてくれた(?)のか、子どもに対して叱るということをしてきていました。親と子という関係の中、悪いことをしたら叱られるという風景を見て、これまた笑みがこぼれていました。

朝9:00から11:00まで、参加者全員が無事にケガすることなく会を終了することができ、充実した2時間でした。その中で、理学療法士という職業をまだまだ世間に広めないといけないと痛感しました。今年でPT7年目の私にとって、今回の経験が自分自身のさらなる向上につながるよう、福祉用具を含め医療の基礎知識を再度勉強していこうと考えています。

人権フェスタ 2013 参加報告

日 時：平成25年11月16日(土) 10:00~17:00

11月17日(日) 10:00~16:00

場 所：和歌山ビッグホール

参加会員：11月16日 木下賢治(自宅)、南・井潤(済生会和歌山)、阪口(海南医療)

安達・吉富(日赤)、和歌山国際厚生学院 学生5名

11月17日 木下賢治(自宅)、藤野・辻(済生会和歌山)、阪口(海南医療)

高根・安達・内原・吉富(日赤)、和歌山国際厚生学院 学生4名



ブロック通信

北出病院 塩路 崇義

消炎鎮痛楽団

またまたお久しぶりです！北出病院の塩路です。この時期がやって参りました。そう！！ブロック通信の時期が！ということで、今回は何を紹介させていただこうかと考えますと…、前回 OFC (Ozaki Fishing Club) でセラピストだけでなく、Nsも参加してというくだりがあったので、今回は北出病院で活動していて、わたくしも参加しているプラスバンド部、その名も「消炎鎮痛楽団」を紹介させていただきます。ネーミングからしてインパクトがあるでしょう(笑)？この楽団は、2008年に発足され、初めのうちは職員だけでは人数が少なく、病院外からも助っ人をお願いしてやっと演奏できる状態でした。また初の講演は当院での健康祭りという催し物で、「ルパ



ン三世のテーマ」のみの演奏となんと寂しいものでした。しかし、毎年楽器ができる新人や講演をするたびに参加しようかなと思ってくれるスタッフが名乗りを上げ、入団してくれるようになりました。リハスタッフを中心に、ナース、ケアワーカー、検査科、放射線科、栄養科、薬剤科、医事課、なんとドクターまでも…しかも院長が！！そして現在では約20名と病院スタッフだけで演奏できるようになり、曲目も1度の演奏会で10曲程度演奏させてもらえるほどの人気を獲得してきました（笑）。曲目もJ-POPから演歌、童謡、歌謡曲とすべての年齢層に合わせることでできる素晴らしいラインナップ！！なかなか難しいですが、全員練習を重ねに重ねているところです。今では演奏会後に出持ちがあるとかないとか…。

しかし、演奏会もさることながら、わたくしがこの楽団に入っているのにはもう一つ理由があります。それは…みなさんもお分かりの通り、演奏会後の飲み会です！！やっぱり一仕事終えた後の一杯は格別ですからね！！やはり音楽



に携わっているだけあって、飲み会も初めからカラオケです（笑）。飲んで、歌えの大騒ぎ…次の日休み取っとけばよかったと毎回後悔させられています。

現在、活動しているのは、病院内での催し物の健康祭り、地域の祭りのくえ祭り、当法人老人保健施設の夏祭り、そして今年は老健での忘年会にも参加させていただくことになっています。毎年、少しずつではありますが活動範囲を広げているところであります。もし、この記事を読んでくださっている方の地域に「消炎鎮痛楽団」という名前を見かけた方がいらっしゃいましたら、ご家族・ご親戚・ご友人とお誘いあわせの上、鑑賞して頂けると幸いです。では、会場でお会いできることを祈りつつ、しめたいと思います。ではまた！！

地域局より

【紀北発信】

紀北地域局担当理事 有馬 聡

◇第2ブロック主催紀北地区勉強会の報告

慈生会 山口整形外科 浅見 岳志

日 時：平成25年6月20日（木）19:30～21:30

場 所：和歌山国際厚生学院 1階講堂

内 容：『運動器リハビリテーションを再考する～下肢変形疾患を中心に～』

講 師：辻整形外科 鍋嶋崇之先生

参加者：33施設 110名

『運動器リハビリテーションを再考する～下肢変形疾患を中心に～』を受講して

慈生会 山口整形外科 松山 智亮

先日の勉強会に参加させていただき、非常に有意義な時間を過ごすことが出来ました。理学療法士として基本であるEBMや評価の内容から膝関節の病態などの細かい内容まで幅広く講義して頂いたので、すごく聞き入ってしまいました。それに講師の鍋嶋先生が会場を和ますような雰囲気を作って下さった事もあり、非常に聞いていて楽しい講義内容でした。残念ながら時間の関係上、用意されていた資料は最後まで聞くことが叶いませんでした。資料を見せて頂き、最後の方の講義内容も非常に楽しみにしていたため、また何かの機会に続きの講義があれば是非参加させて頂きたいです。今回の講義を受け、評価や運動学習の重要性を再確認することが出来、今後の臨床につながるきっかけになったと思います。ありがとうございました。

◇第1ブロック症例検討会の報告

山本病院 大井 信一郎

日 時：平成25年6月22日（土）14:00～17:00

場 所：橋本市民病院 2階講堂

参加者：14施設 49名

内 容：

第1セッション 座長 公立那賀病院 山本 勝巳

『被殻出血後、早期より装具療法を実施した一症例』

橋本市民病院

池垣 香衣

『脳出血后右片麻痺患者の立位姿勢改善を目指して』

山本病院

前野 秀介

『精神疾患を持った片麻痺患者を自宅退院に向けて行ったチームアプローチ』

紀和病院

東山 紗己

第2セッション 座長 紀和病院 前田 直人

『転倒により左足関節外果骨折を受傷した症例』

名手病院

中谷 圭佑

『左人工骨頭置換術後、左立脚期の短縮と疼痛がみられた一症例』

山本病院

北野 勝誠

『左膝外側側副靱帯損傷により入浴動作に支障をきたしたため、

住宅改修により改善を試みた一症例』

横手クリニック

山本 繁輝

「第1ブロック症例検討会に参加して」

山本病院 坂本 千夏

平成25年6月22日(土)に橋本市民病院で行われました第1ブロック症例検討会に参加しました。症例検討会では、第1ブロックの各病院の先生方が症例発表をされており、今回、私の所属する病院の先輩方も発表していました。珍しい症例、馴染みのある整形疾患、脳血管疾患の症例や住宅改修についての症例まで様々な症例発表を聞くことができました。私は精神疾患の症例経験をしたことがなく、今回統合失調症の症例発表を聞き、チームアプローチの大切さを改めて知る事ができました。また、貴重な発表であると感じました。

第2セッションでは他の病院の先生方と班になり、第2セッションで発表した先生方に対して質問内容を考えるといった形式でした。ベテランの先生から、私達のような新人セラピストまで色々な先生方と会話やディスカッションすることができました。今回の勉強会で印象に残っていることは、人工骨頭置換術後の画像所見の見方を教えていただいた事です。臼蓋への骨頭の位置や頸体角の角度の違いで今後出やすい障害が予測できる事を知り、画像所見の見方がガラッと変わりました。疾患に対する新しい考え方を学べ、充実した時間を過ごせました。今回学んだ知識を無駄にしないよう臨床にいかしていきたいです。症例検討会の雰囲気も和やかで、ディスカッションにも入りやすく知識の幅を広げるいい機会であると感じた為、今後も参加していきたいと思っています。

また、このようなブロックごとの勉強会により急性期、回復期または維持期の施設や病院の先生方が集まり、症例検討会を実施することで情報交換などが行える為、地域で連携した医療を患者様に提供するいい機会であると感じました。

◇メディカルサポート講習会の報告

角谷整形外科病院 鳥居 久展

日 時：平成25年6月23日(土) 9:00～13:00

場 所：角谷整形外科病院 2階第1理学療法室

参加者：28 施設 74名

「全国高等学校野球選手権和歌山大会・メディカルサポート講習会」に参加して

角谷リハビリテーション病院 山本 悠揮

平成25年6月23日(日)、第95回全国高等学校野球選手権和歌山大会に向けてのメディカルサポート講習会に参加させて頂きました。当講習会は毎年この時期に行われており、今回でメディカルサポート開始から16年目になるとのことです。私は去年に引き続き2回目の参加でしたが、今回は参加者が約80名とのことで会場は熱気に包まれていました。今回のテーマとして、「現場で使える基本的なテーピング方法」ということで、理学的評価からテーピング実施への流れや、ケース別での対処法などをわかりやすく教えて頂きました。またグループでディスカッションしながら行えたことにより、普段関わりのない他施設の先生方との交流も深めることができたことで、有意義な講習会となりました。スポーツ現場において迅速・的確に行動できるよう、今後より一層の努力が必要だと感じました。



講習会の最後には、「2015 紀の国わかやま国体」のマスコットキャラクター、“きいちゃん”も応援に駆けつけてくれ、今年の高校野球和歌山大会や2年後のわかやま国体に向け、メディカルサポート活動を行う私たち理学療法士

の士気を高めることが出来たように感じました。今後も、頑張る選手達のために全力でサポートさせて頂きたいと思っています。

◇第 95 回全国高等学校野球選手権和歌山大会ディカルサポート活動（担当：鳥居）

期間：平成 25 年 7 月 12 日～27 日の 14 日間（19・25 日は休養日）

内容：1 回戦～決勝戦まで全試合のサポート

サポート結果：総処置件数：75 件（54 名の選手に対して処置を行った）

ポジション別：投手 5 名、捕手 9 名、内野手 19 名、外野手 15 名、不明 6 名

処置の時期：試合前 54 件、試合中 19 件、試合後 2 件

処置の内容：テーピング 61 件、アイシング 12 件、コンディショニング 5 件、
その他 1 件

試合後の投手クーリングダウンについて：

アイシング実施：述べ 107 名、PT によるクーリングダウン実施：述べ 23 名

参加者：40 名（1 日 3～4 名でのシフト制）見学者 34 名（うち PT 27 名・学生 7 名）

◇第 1 回紀北地区新人教育プログラム対象者による学術発表会（担当：岩城・赤澤）・茶話会（担当：田川）の開催

日 時：平成 25 年 9 月 8 日（日）9:00～12:50

場 所：和歌山国際厚生学院講堂

内 容：新人教育プログラム履修者（2 年目位）の発表会及び茶話会

参加者：20 施設 50 名

茶話会参加者：11 施設 20 名

第 1 セッション 座長：小川 真哉（琴の浦リハビリテーションセンター）

1) 『TKA 術後の階段降段動作獲得を目指した理学療法～運動制御に着目して～』

松山 智亮（はしもと整形外科）

2) 『変形性膝関節症患者に対するアプローチ～荷重連鎖に着目して～』

南 亜依（琴の浦リハビリテーションセンター）

第 2 セッション 座長：小林 啓晋（角谷リハビリテーション病院）

3) 『環境因子により自宅復帰が困難になった一症例』

細田 恵利（角谷リハビリテーション病院）

4) 『超高齢者の活動性低下について考えさせられた一症例』

馬場 真奈美（角谷リハビリテーション病院）

第 3 セッション 座長：伊藤 雅文（名手病院）

5) 『脳卒中患者における大腿四頭筋筋力増強の効果

～痙攣と身体パフォーマンスに及ぼす影響を踏まえて～』

嘉摩尻 伸（紀和病院）

6) 『起立性低血圧を呈した透析患者に対するコンディショニングと運動療法

～日常生活動作の改善を認めた一症例～』

梅本 裕司（名手病院）

第 4 セッション 座長：山本 義男（和医大みらい推進医療センター）

7) 『症例報告 混合性換気障害に対する理学療法に難渋した 1 症例』

浅野 明大（和医大みらい推進医療センター）

◇第 2 回紀北地区新人教育プログラム対象者による学術発表会（担当：石橋・木下）

日 時：平成 25 年 11 月 10 日（日）9:00～12:30

場 所：和歌山労災病院 大会議室

参加者：29 施設 78 名

第 1 セッション 座長：小林 啓晋（角谷リハビリテーション病院）

1) 『中枢性疼痛に対する Mirror Therapy の効果 ～single case study～』

山本 悠揮（角谷リハビリテーション病院）

2) 『円盤投げ選手の腰部筋群の筋活動について』

仲村 有以（角谷リハビリテーション病院）

3) 『きのくに医・科学サポート事業 ～競泳競技のサポート活動～』

川合 利枝（角谷リハビリテーション病院）

第2セッション 座長：玉置 博文（武用整形外科）

4)『圧迫骨折患者のコアトレーニングに対する一考察 ～圧潰予防を目指して～』

宮本 真吾（貴志川リハビリテーション病院）

5)『変形性膝関節症の歩行に対する一考察 ～下肢運動連鎖に着目して～』

原井 祐弥（貴志川リハビリテーション病院）

6)『独居における在宅復帰を目標とした認知症を伴う左片麻痺患者の一症例』

静 阿禍梨（山本病院）

第3セッション 座長：木下 利喜生（和歌山県立医大附属病院）

7)『ポストポリオ症候群の反脹膝に対する装具療法の試みとフォローアップの重要性』

藤田 恭久（和歌山県立医大附属病院）

8)『抗重力姿勢における陽圧換気負荷が循環動態に与える影響』

大野 千種（和歌山県立医大附属病院）

9)『円滑な起き上がり動作獲得を目指した一症例 ～生態心理学的概念を取り入れて～』

丹野 浩二郎（琴の浦リハビリテーションセンター）

第4セッション 座長：石橋 昭人（済生会和歌山病院）

10)『当施設における通所リハビリテーションの利用者への訪問指導介入について』

児玉 直也（瀬藤病院）

11)『重症心身障害者の嚥下機能改善に向けた理学療法』

藤本 純平（愛徳医療福祉センター）

12)『テーピング・パッドを用いた評価・治療～第3, 4中足骨基部骨折のForefoot Rockerの獲得～』

花澤 晃宏（山口整形外科）

【中紀発信】

中紀地域局担当理事 西川 典男

日 時：平成25年10月19日（土）13：15～14：15

場 所：海南市民交流センター

内 容：新人教育プログラム『E-2 ティーチングとコーチング』

講 師：浅井 琢也（下津クリニック）

日 時：平成25年10月19日（土）14：30～17：00

内 容：中紀局研修会『運動・神経科学からみた身体機能トレーニング』

講 師：竹林 秀晃（土佐リハビリテーションカレッジ）

参加者：18施設42名

【紀南発信】

紀南地域局担当理事 安井 常正

◇紀南地域局事業報告

第1回紀南地域局研修会

日 時：平成25年7月6日 14：00～

場 所：新宮市立医療センター

参加者：12施設30名

内 容：呼吸リハビリ ～周術期リハビリを中心に～

講 師：堀 晋之介先生（和歌山県立医大）

親睦会

日 時：平成25年7月6日 18：30～

場 所：でん

参加者：5施設18名

紀南地域局症例検討会

日 時：平成25年7月7日 9：00～

場 所：新宮市立医療センター

参加者：7施設20名

第6ブロック事業報告

勉強会

日 時：平成25年6月26日 18:30～
場 所：日比記念病院
参加者：7施設 18名
内 容：「離床がもたらす効果と長期臥床リスク」
担 当：高山 悠馬（日比記念病院）

日 時：平成25年8月30日 18:30～
場 所：あじさい苑
参加者：4施設 12名
内 容：「転倒予防」
担 当：鳥渕 幹雄（あじさい苑）

日 時：平成25年10月31日 18:30～
場 所：くしもと町立病院
参加者：5施設 11名
内 容：「手部・手指の触診と解剖」
担 当：小早川 浩司（くしもと町立病院）

各委員会より

■公益社団法人取得記念事業開催へのご協力のお願い■

記念事業準備委員長 森本 昌信

拝啓 会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。

さて、皆様ご承知のとおり我々理学療法士協会が4月1日より公益社団法人を取得いたしました。これもひとえに、会員各位のご協力の賜と深く感謝申し上げます。

平成26年2月15日に公益社団法人取得を記念し、公開講座・記念祝賀会を下記のとおり計画し準備をすすめています。

公開講座には東海林のり子氏をお招きし、「いきいき人生の秘訣」と題し、広く一般県民の皆さまに（300名を予定）参加していただく計画をしています。

また、関係機関、市町村長ならびに会員施設の施設長様等をお招きし、我々理学療法士協会が従来までの公益活動に加え、県下の地域包括ケアシステムの構築、国体支援等、更なる活動を通じ県下の医療・保健・福祉の発展に寄与していくことを広く知って頂くことを目的に、記念祝賀会を開催いたします。

つきましては、会員の皆様には運営協力、公開講座への参加協力をお願いする次第です。

敬具

記

日 時：平成26年2月15日（土）15:00～18:50

場 所：アバローム紀の国

内 容：公益社団法人取得記念事業

1. 公開講座

時 間 15:00～16:00（2階鳳凰の間）

テーマ「いきいき人生の秘訣

～悔いなく元気に生きるために～

講 師 東海林のり子氏（リポーター・キャスター）

2. 記念祝賀会

時 間 16:20～18:50（3階孔雀の間）

公益社団法人和歌山県理学療法士協会
一般公開講座のご案内

い
き
い
き
人生の秘訣

東海林のり子氏
（リポーター・キャスター）

参加無料

平成26年
2月15日（土）
15:00～18:50

アバローム紀の国
2階 鳳凰の間

申込しめ切り
1月30日

申込方法：FAX・Email・ハガキにてお申し込みください。
申込先：公益社団法人和歌山県理学療法士協会
〒641-0014 和歌山市中見 1451
第の里リハビリテーションセンター内
FAX：073-446-1207
Email：wpt@wpt-wakayama.or.jp
お問い合わせは上記FAXかEmailでお願いします。

主催：公益社団法人和歌山県理学療法士協会
後援：和歌山県・和歌山市・和歌山県看護協会
一般社団法人和歌山県理学療法士協会

■平成 25 年度紀の国わかやま国体支援特別委員会経過報告■

紀の国わかやま国体支援特別委員長 林 積司

◇第 68 回 国民体育大会 活動報告

「競泳選手へのトレーナー活動に参加して」

日本赤十字社和歌山医療センター 高根 良輔

平成 25 年 9 月 13 日（金）～9 月 15 日（日）の 3 日間の日程で、競泳競技が東京辰巳国際水泳場で行われました。理学療法士協会では、角谷リハビリテーション病院の川合利枝先生と私の 2 名で、本大会前の強化合宿や事前合宿から活動を開始し、本大会では前日の 9 月 12 日よりコンディショニングやケアを行ってきました。東京で開催されるということもあり、平泳ぎの北島康介選手や背泳ぎの寺川綾選手等のオリンピック出場選手らも出場しており、非常に熱気のあるレベルの高い大会でした。その中和歌山競泳チームは、成人の部が男子 400m 自由形 3 位、男子 200m リレー 4 位、女子 200m リレー 6 位、男子 50m 自由形 6 位、女子 50m 自由形 6 位、少年の部が少年 A 男子 400m 自由形 3 位と入賞を果たしよい結果を残すことができました。3 日通してのレース前ケアはストレッチ・マッサージ 45 件、陸上トレーニング 44 件、アイシング 4 件、レース後の会場、宿舎でのケアはストレッチ・マッサージ 28 件でした。ケアの部位として腰部、肩が最も多く、続いて大腿、下腿、股関節、上腕でした。



会場では、数多くの理学療法士や柔道整復師、鍼灸師、AT の先生方が活躍しておられ、私たちも勉強になることが大変多くありました。トレーナーとして反省し改善していかなければならないことも見つかりました。2015 年の和歌山国体に向け、さらなる自己研鑽が必要であることは言うまでもありませんが、選手らの障害予防・ケアだけでなく、競泳能力向上に向けたトレーニングの提供も必要であると感じました。

「ソフトテニス選手へのトレーナー活動に参加して」

日本赤十字社和歌山医療センター 玉置 一太

平成 25 年 10 月 6 日・7 日の 2 日間の日程で、ソフトテニス競技が東京都世田谷区立総合運動庭球場・大蔵第二運動庭球場で実施され、成年男子・女子のコンディショニングサポートを行いました。4 日に東京入りし、練習中のケア・コンディショニング、練習後に宿舎でのストレッチ・マッサージを実施しました。6 日・7 日の競技実施時は、試合間でのアイシング・マッサージ・ストレッチ・テーピング・セルフトレーニング指導等を行い、試合後に宿舎でもケア・コンディショニングを行いました。成年男子は初戦敗退となってしまいましたが、成年女子は 4 位入賞となりました。

今回、近畿地区予選から帯同させて頂きましたが、ソフトテニス競技においては理学療法士や AT が帯同している県が少ない印象でした。和歌山県としては 2015 年の国体開催に向けて、トレーナー活動が活発になっており、選手のパフォーマンス向上・障害予防に役立てたのではないかと思います。また、私自身にとっても理学療法士として自己研鑽となり、大変良い経験をさせていただきました。今後も和歌山県のスポーツ選手のためにサポート活動がさらに活発化されていくよう、自分自身も努力していく所存です。

◇研修会報告

和歌山県スポーツ理学療法研究会 平成 25 年度第 1 回研修会

日 時：平成 25 年 6 月 1 日（土） 16 時 00 分～18 時 00 分

場 所：辻秀輝整形外科 リハビリ訓練室

参加者：115 名

内 容：（16 時 00 分～17 時 00 分）

『現場重視の勧め：フットサルの場合』

講師：関西医療大学大学院教授 増田 研一 先生（スポーツドクター）

(17時00分～18時00分)

『競技特性を踏まえたトレーナー活動』

講師：辻秀輝整形外科 JASA-AT・鍼灸師

服部 祐介 先生 (大阪府サッカー協会トレーナー・和歌山陸協トレーナー)

角谷整形外科病院 理学療法士

畑山 大輔 先生 (和歌山陸協トレーナー)

和歌山県スポーツ理学療法研究会 平成25年度第2回研修会

日時：平成25年8月31日(土) 15時30分～18時30分

場所：老人健康施設 成華苑 リハビリテーション科

参加者：35名

内容：『テーピングの基礎』 (15時30分～16時10分)

『テーピング実技 下肢篇』 (16時20分～18時30分)

講師：角谷整形外科病院 理学療法士 川上 基好先生・柏木 孝介先生

国体ブースに関して県との話し合いで13種目18会場を和歌山県理学療法士協会が担当予定しています。

事務局より

他団体・他士会からのニュース 学術誌の受領報告 (H25.6.11～H.25.11.9)

【ニュース】

(公社)新潟県 No.161

(一社)山梨県 No.138、No.140

(公社)滋賀県 No.179、No.180

(一社)静岡県 No.139

(社)大分県 No.95(156)、No.96(157)

(公社)北海道 No.182、No.183、No.184

(公社)広島県 No.226、No.227

(社)佐賀県 No.92、No.93、No.94

(一社)愛知県 No.170

(社)宮崎県 Vol.10(72)

(社)大阪府 No.238、No.239

(一社)福島県 No.70

(社)福岡県 No.194、No.195

(公社)埼玉県 No.73(114)、No.74(115)

(社)神奈川県 No.252、No.253

(一社)京都府 No.258

(公社)熊本県 No.110、No.111

(公社)秋田県 No.153、No.154

(公社)鹿児島県 No.51(90)、No.52(91)

(社)長野県 No.43

(社)岐阜県 No.105、No.106

(一社)兵庫県 No.151

(公社)茨城県 平成24年度年報

(一社)群馬県 No.112、No.113、No.114、No.115

(社)富山県平成25年度 No.1(129)、No.2(130)、平成24年度年報

【学術誌・学会誌・機関誌・記念誌】

理学療法沖縄 Vol.14 2012

愛知県理学療法学会誌 Vol.25 No.1 2013

志(こころざし) 第4号 (公社)大分県理学療法士会 広報誌

和歌山県病院協会会報 平成25年7月号 No.215

地域におけるリハビリテーション提供のあり方に関する調査研究事業

高次脳機能障害者の地域生活支援の推進に関する研究 平成22年度総括・分担研究報告書

紀伊半島大水害 豪雨 平成23年台風12号発生から100日 新宮市の記録

愛知県理学療法白書 あいち2012

言の葉 和歌山県言語聴覚士会機関誌 第13号

和歌山県言語聴覚士会 会員施設名簿 平成25年度

第14回和歌山県病院大会 第17回和歌山県病院協会学術大会 会誌

「行政の理学療法士、作業療法士が関与する効果的な事業展開に関する研究」 一地域保健への理学療法士、作業療法士の関わり

奈良県理学療法士会会誌 No.19 2013

公益社団法人新潟県理学療法士会 規定集

公益社団法人新潟県理学療法士会 会員名簿
和歌山県病院協会会報 平成 25 年 9 月号 No.216
茨城県理学療法士会 40 周年記念誌
理学療法群馬 No.23、No.24
(公社)国際医療技術財団 JIMTEF レポート No.3 2013・10
平成 23 年台風 12 号紀伊半島大水害 古座川大水害の記録 ～被害状況と復興への取り組み～
北海道理学療法 Vol.30 2013
第 64 回北海道理学療法士学術大会 創立 45 周年記念大会 プログラム・抄録集
アシスティブ・プロダクツ Vol.9 2013 09

以上の刊行物をご覧になりたい方は、
事務局、資料調査・管理部の坂本善朗氏（琴の浦リハビリテーションセンター）までお問い合わせ下さい。

■事務局からのお願い■

庶務部より 施設長名変更時のお願い

庶務部長 小田 佳亮

変更があった場合、速やかに協会庶務部宛に FAX またはメールにてご連絡下さい。

協会事務局 FAX : 073-446-1207

メールアドレス : wpt-shom@pt-wakayama.or.jp

記載の内容に関しては、変更前の氏名と変更後の氏名の両方を記載お願いします。

また、フリガナの記載もよろしくお願い致します。

FAX にて送信して頂く場合、文字は大きめで崩さずに記載して頂けるようにお願いします。

怪しい勧誘電話にご注意

日本理学療法士協会より、怪しい勧誘電話にご注意するよう下記のとおり連絡がありました。

皆さま、ご注意下さい。また、同様の内容がございましたら、事務局までご連絡下さい。

会員各位

公益社団法人日本理学療法士協会

勧誘電話についてのお知らせ

拝啓

初秋の候、会員の皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃から協会運営にご理解、ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、本年 8 月末から 9 月にかけて 2 名の会員様から、「理学療法士協会から紹介された」、「理学療法士協会に委託されている」と言って、勤務先に電話がかかり、「入会すれば手取りが増える」、「あなたの年収、勤続年数を教えて欲しい、また、年収から考えて税金を多く収めすぎているからアドバイスさせて欲しい」など、年収をはじめとした個人情報を聞き出す業者がいるとの情報が寄せられました。

日本理学療法士協会、都道府県理学療法士会とも個人情報の取扱いには細心の注意を図り業務にあたっており、上記の内容を業者に委託すること、業者へ個人情報を提供することは絶対にございません。

会員の皆様におかれましては怪しい勧誘電話には十分ご注意くださいようお願い申し上げます。

敬具

編集後記

師走を迎え今年を振り返ると、例年になく早い梅雨明けの後10月の初めまで続いた長い猛暑が印象的でした。また伊豆大島での豪雨や食品偽装、2020年のオリンピック開催決定など大きなニュースがありました。我々にとっては4月に公益法人の認可を得られた事、大きな結果を残せた参議院選挙も心に残る出来事でした。数年先になってかえり見た時に今年の選挙の結果が花開き実を結んでいる事を祈りたいものです。

さて今号のニュースを見ると、秋に入って多くの協会行事が行われた事が報告されています。地域の様々な行事に参加して理学療法をアピールして頂いた先生方ありがとうございました。また多くの研修会・勉強会が開催され参加した先生方も御苦労様でした。このような協会活動や日常の業務の頑張りによって、理学療法士への信頼を少しずつ積み上げていくのではないかと考えています。年明け2月には公益社団取得の記念式典と公開講座が開催されます。会員の皆様の御協力よろしくお願いいたします。

(広報局広報推進部長 阪口和男)

公益社団法人 和歌山県理学療法士協会
【事務局】
琴の浦リハビリテーションセンター内
〒641-0014 和歌山市毛見1451
TEL 073(499)5000